トラリピを注文してみるの巻

トラリピ上級者になろうの巻

トラリピをメンテナンスしようの巻

FXの基礎からトラリピの仕組みまでを学ぼう!

トラリピ・パーフェクトガイド

MONEY SQUARE
毎日が財産になる

目次

FXはいくら資金が必要？ …… 4

トラリピはFXに向いている？ …… 10

トラリピの注文画面 …… 16

①通貨ペア …… 18

②売りと買い …… 21

③レンジ …… 25

④注文数量 …… 32

⑤トラップ本数 …… 34

⑥利益値幅／利益金額 …… 37

⑦（任意で設定）決済トレール …… 43

⑧（任意で設定）ストップロス …… 48

⑨（任意で設定）レンジシフト …… 51

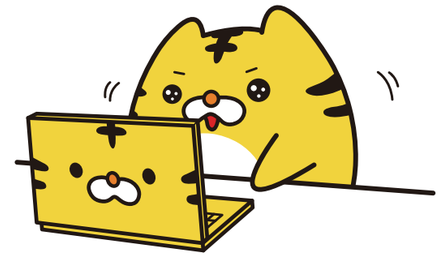
必要資金をチェック（トラリピのリスクを試算） …… 59

いざ！注文 …… 65

「トラリピを注文してみるの巻」は

こんな方におすすめ！

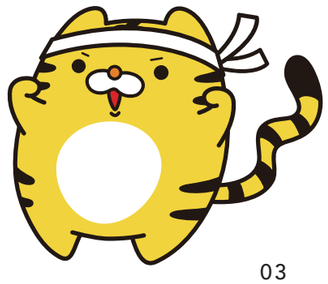
- ☑ はじめてFXを取引する方
- ☑ FX取引の仕組みがよくわからない方
- ☑ トラリピをはじめて注文する方
- ☑ トラリピ注文したことがあるけど、よくわからず、すぐにやめてしまった方



——などなど、とにかく「一から学びたい」という方に最適な説明書となっています。

「トラリピを注文してみるの巻」では
「FXってどのくらいお金が必要？」「ロスカットって何？」
といったFXの基礎的な部分から
トラリピの設定項目の意味や設定値を決めるための
ポイントを説明するがぅ！

注文完了までを目標として作成したものなので、
これを参考に注文いただけるお客様が
一人でも増えると嬉しいがぅ！



マネースクエアのマスコットキャラクター
トラリピくん

FXはいくら資金が必要？

トラリピの説明に入る前に、そもそもFX取引ではどれだけ資金が必要なのか、
また最重要ポイントであるロスカットについて理解しましょう。
トラリピの仕組みや設定内容を学ぶ上で欠かせない内容です。

FXで必要な資金とは？

FXでは本来外貨を買うために必要な資金より少ない資金で取引ができます。
以下に説明します。

1米ドル＝130円のときに1万米ドル購入する場合
日本円でどれくらい必要か、外貨預金の場合と比較します。

外貨預金の場合

130円 × 1万米ドル
＝130万円

▼

1万米ドル購入するのに
130万円必要

FXの場合

130円 × 1万米ドル
× 証拠金率(4%)＝52,000円

▼

1万米ドル購入するのに
最低52,000円あれば間に合う

なぜFXでは少ない資金で取引ができるかというと、
レバレッジを効かせることができるからです。

レバレッジ

レバレッジとは**「てこの原理」**を意味する言葉で、
少ない力でより大きなものを動かせることを指します。
トラリピFXでは最大で**資金の25倍まで（証拠金率4%以上）**の取引を
行うことができます。

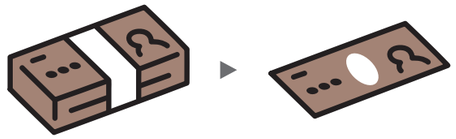
つまり上記例の場合、52,000円の資金で130万円の取引ができるということです。
ちなみにこの130万円のことは**取引総代金**、52,000円（取引総代金に証拠金率※をかけたもので、取引に必要な最低資金）のことを**証拠金**といいます。

※トラリピFXの証拠金率は4%以上（レバレッジは最大25倍）です。また、法人口座にかかる証拠金率は通貨ペアごとに異なります。法人口座の証拠金率についてはこちら。
https://www.m2j.co.jp/m2jfx-guide/margin-rate

1米ドル＝130円で1万米ドルを購入した後に、米ドル/円のレートが上がったところで
1万米ドルを売れば利益が得られます。
例えば先ほどの例の場合、1米ドル＝131円になったところで売れば
日本円で1万円の利益が得られます。

外貨預金の場合

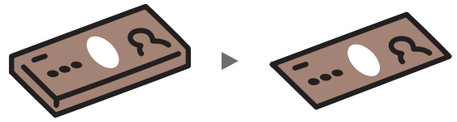
預けた資金 ▶ 利益



130万円の資金に対して
1万円の利益

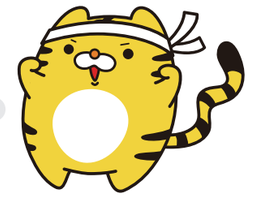
FXの場合

預けた資金 ▶ 利益



52,000円の資金に対して
1万円の利益

重要ポイントがぅ！



証拠金分だけ預ければ大丈夫？

たしかに上記【FXの場合】の例では最低52,000円あれば1万米ドル購入できますが、
買った後に米ドル/円のレートが下がった場合、すぐにロスカットが執行され、
強制的に米ドル/円が売却されてしまいます。

FX取引ではレバレッジを効かせて少ない資金で取引できるかわりに「ロスカット」制度があり、
その時々のレートで計算される時価の残高が証拠金を下回ると
強制的に取引が終了されてしまいます。
この「ロスカット」が執行されないように、証拠金以上の資金を預けて
余裕を持たせる必要があります。

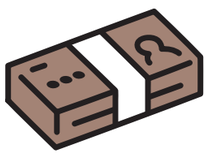
FXはいくら資金が必要？

どのようなときにロスカットが執行されるのか

以下例を用いてご説明します。※スワップは考慮していません。

資金6万円で1米ドル＝130円のときに1万米ドル購入

通貨を買っている／売っている状態を「ポジション」といいます。

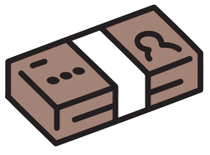


1万米ドル
保有

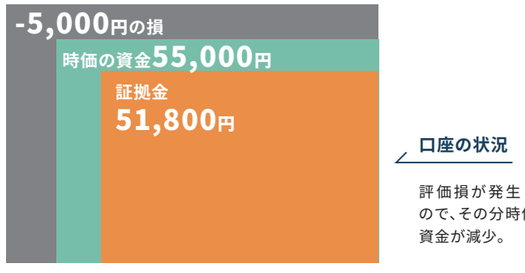
証拠金：130円 × 1万米ドル × 4% ＝ 52,000円

1米ドル＝129.5円に下がりました

外貨を買った（売った）状態で時価のレートで計算される損益を評価損益といいます。



1万米ドル
保有



評価損が発生したので、その分時価の資金が減少。

このときのレートで計算すると、

（129.5円－130円）× 1万米ドル ＝ －5,000円

－5,000円の損が発生します。

つまり、保有している1万米ドルの価値が下がっているということです。

そうすると時価の資金は

60,000円 － 5,000円 ＝ 55,000円

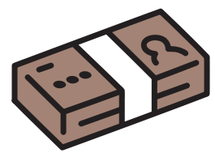
となります。

ポジションにかかる証拠金はその時々のレートで計算されます。

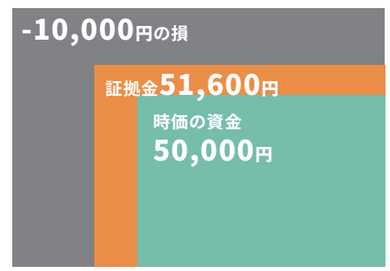
証拠金：129.5円 × 1万米ドル × 4% ＝ 51,800円

1米ドル＝129円に下がりました

ロスカット執行！



1万米ドル
保有



評価損が拡大し、時価の資金が証拠金よりも少なくなった。

ロスカットが執行され、－1万円の損が確定。口座には時価の残高（50,000円）が残ります。

このときのレートで計算すると、

（129円－130円）× 1万米ドル ＝ －10,000円

－10,000円の損が発生します。

このとき、時価の資金は 60,000円 － 10,000円 ＝ 50,000円

証拠金：129円 × 1万米ドル × 4% ＝ 51,600円

取引に必要な資金（証拠金：51,600円）よりも時価の資金（50,000円）の方が少なくなってしまったのでロスカットが執行され、保有している米ドルが全て強制的に売られてしまいました。

ロスカット制度

資金が一定の割合まで目減りしたときに自動的に取引を終了させて損失を確定するという制度がロスカット制度です。「トラリピFX」では、証拠金維持率が『100%』を下回っていた場合、ロスカットになります。

ロスカットに関するご注意事項

- ロスカットは損失の限定を保証するものではなく相場環境によってはお預り資金以上の損失が発生する場合があります。
- 証拠金維持率判定は一定間隔で行っており、計算中または再計算までに相場環境が急変した場合、損失が膨らむ場合があります。
- ロスカットはポジション毎に成行で注文されるため、成立時間や成立値が異なる場合があります。
- ご入金いただいたご資金は預託証拠金への反映をもって取引証拠金として取り扱われるため、銀行などの処理によりお取引口座への入金反映が間に合わずロスカットされる場合があります。

FXはいくら資金が必要？

実際の取引画面でどこを確認しておけばいいの？

前頁で説明していた「時価の資金」や「証拠金」は取引画面上で以下のように表示されます。

「時価の資金」→ **有効証拠金**　　「証拠金」→ **必要証拠金**

そして、ロスカットは**「有効証拠金」÷「必要証拠金」× 100（%）**で計算される**「証拠金維持率」**が**100%を下回ると執行**されます。

預託証拠金	評価損益	（ポジション）	（スワップ等）	有効証拠金	証拠金維持率	（必要証拠金）
1,000,000	－100,000	－100,000	0	900,000	300%	300,000

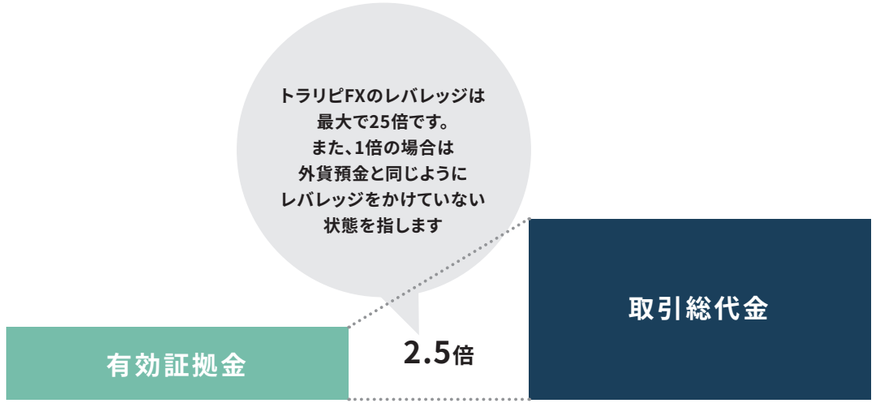
「有効証拠金」「必要証拠金」「証拠金維持率」は口座状況の中でロスカットに関わる最重要項目なので取引を開始したら適宜チェックしましょう。

先ほどの例では資金6万円で運用していましたので、
評価損－1万円になったところでロスカットが執行されてしまいましたが、
例えば**資金10万円で運用**していた場合、評価損－1万円（必要証拠金51,600円）になっても
有効証拠金の方が必要証拠金よりも大きいので**ロスカットは執行されません**
（レートがその後上昇して評価損から評価益になることもあります）。

このようにロスカットに対するリスクは**資金を調整すること**で減らすことができます。

また、トラリピ運用の際に**必要な証拠金**や、**いくらでロスカットが執行されるか**等については
「トラリピのリスクを試算」（P.59で紹介）を注文する前に利用することで確認できます。

ちなみに、当社のお客様の**証拠金維持率の平均**は
おおよそ**1,000%**ほどで、これは資金（有効証拠金）の2.5倍、
すなわち**2.5倍のレバレッジ**に相当する取引になります。



レバレッジ2.5倍しかかけないの？

最大25倍までレバレッジをかけられるのに、当社でお取引されている
お客様の平均が2.5倍と低いのは、中長期運用や安全性を重視してい
るお客様が多いことの表れだと思われます。
実質的なレバレッジが低いということはつまり、ロスカットにかかる可能性が低いという状況です。
ロスカットにかかってしまうと取引がそこで終了してしまうため、中長期で運用されることを想定されてい
るお客様はロスカットに対するリスクをなるべく減らす傾向があります。
さらに、このあとご紹介するトラリピ注文は短期取引よりも中長期運用いただくことでコツコツ利益を積
み重ねることができます。

証拠金に対してどの程度資金を入れるか、
実質的なレバレッジをどれくらいかけるかということは
あくまでお客様の判断ですが、よろしければ上記をご参考にしてみてください。

トラリピはFXに向いている？

ここからはいよいよトラリピの説明に入ります。
トラリピの注文の仕組みを簡単に説明すると
①注文を仕掛ける範囲（レンジ）を決める　②レンジ内で注文が繰り返される
ということです。
この2つのポイントを押さえると、設定項目について理解しやすくなります。

「①注文を仕掛ける範囲（レンジ）を決めて」取引することによるメリット

- **ピンポイントで価格を指定するよりもレンジの方が決めやすい**
- **レンジ内でレートが動いていれば収益チャンスがある**

オーストラリアドル/円　日足チャート　2022/5/25～2022/10/25

上のチャートはオーストラリアドル/円のチャートです。現在のレートが94円となっています。
この状態で注文を仕掛けようとします。例えば下がると予想して93円で買うという注文を入れたら
レートが93円まで下がらないと成立しません。仮に注文した後、レートが上昇してしまったら、
レートがいくら動いても取引が成立しないということです。
つまり、レートの価格をピンポイントで予想するのは非常に難しいということです。

そこでトラリピでは、動きそうな範囲（レンジ）を決めて注文します。

オーストラリアドル/円　日足チャート　2022/5/25～2022/10/25

例えば前頁のオーストラリアドル/円のチャートを見てみると、
97.5円～90円の間で大体収まってレートが動いているようにみえます。
そこでトラリピを仕掛ける範囲（レンジ）を97.5円～90円に指定して注文します。
こうすることで、オーストラリアドル/円のレートが94円（注文時のレート）から
上昇しても下落しても注文があるので、取引が行われます。

さらに、レンジの中に注文（トラップといいます）をいくつも仕掛けた場合、
レンジ内でレートが動いていると複数取引が行われて、収益チャンスが生まれます。

続いて　**②レンジ内で注文が繰り返される**　について説明します。
この「注文が繰り返される」ということを当社では「リピート」と呼びます。

注文内容

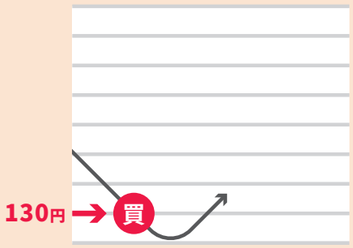
米ドル/円の買いトラリピ
レンジは130円～140円、1本あたり1,000米ドル、
トラップ本数11本、利益金額1,000円

その内のひとつのトラップ（130円で買って131円で売る）
について、どのようにリピートされるのか説明します。

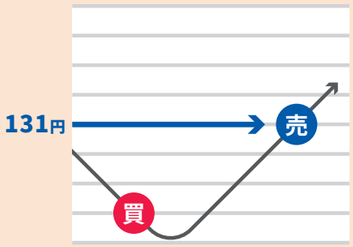
トラップ本数や利益金額
といった用語がいきなり
出てきましたが、
「130円で買って131円で売る
という注文について」
ということです。

トラリピはFXに向いている？

注文成立～リピートまでの流れ

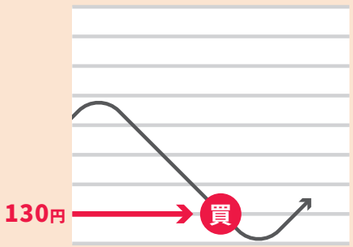


▼



リピートが無い場合は
ここで取引終了
（注文がなくなる）

▼



取引を始める注文のことを
新規注文と言います。
買いトラリピは買い注文、
売りトラリピは売り注文が
新規注文です。

米ドル/円のトラリピなので、
まず米ドル/円のレートが130円に到達すると
130円の買い注文が成立します。

130円の買い注文に対して
131円の売り注文が設定されているので、
131円まで米ドル/円のレートが上昇すると
売り注文（決済）が成立します。

買った外貨を売る
（もしくは売った外貨を
買い戻す）ことを
決済注文といいます

130円で1,000米ドル買って、
131円で1,000米ドル売ったので
差額の1,000円が利益

トラリピ注文では決済注文が成立するのと同時に
決済された注文と同じ価格の新規注文・決済注文が
再度注文されます。
これをリピートといいます。

トラリピはリピートするので…

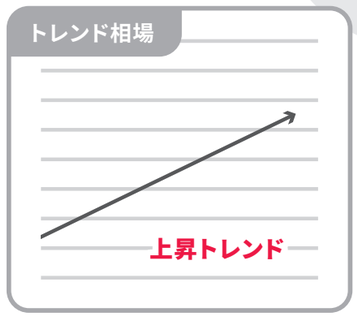
130円の買い注文、131円の売り注文が
再度注文されます。
米ドル/円のレートが130円に到達すると
再び買い注文が成立します。

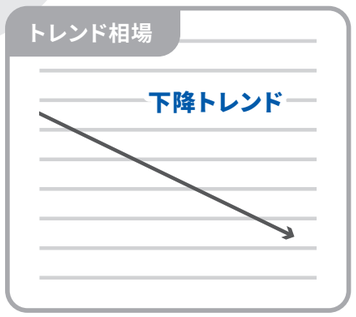
このようにトラリピは注文を繰り返すので、決済されるたびに毎回注文し直す必要がありません。
夜中であっても24時間トラリピは稼働し、リピートされます。

つまり、トラリピは
一定の範囲内（レンジ）で同じ価格に行ったり来たりするような相場であると、
何度もリピートされて、利益を積み重ねることができます。
このような相場のことを**「レンジ相場」**といいます。

レンジ相場の
イメージ

レンジ相場とは反対に、
一方の方向にレートが
動いている相場を
トレンド相場といいます



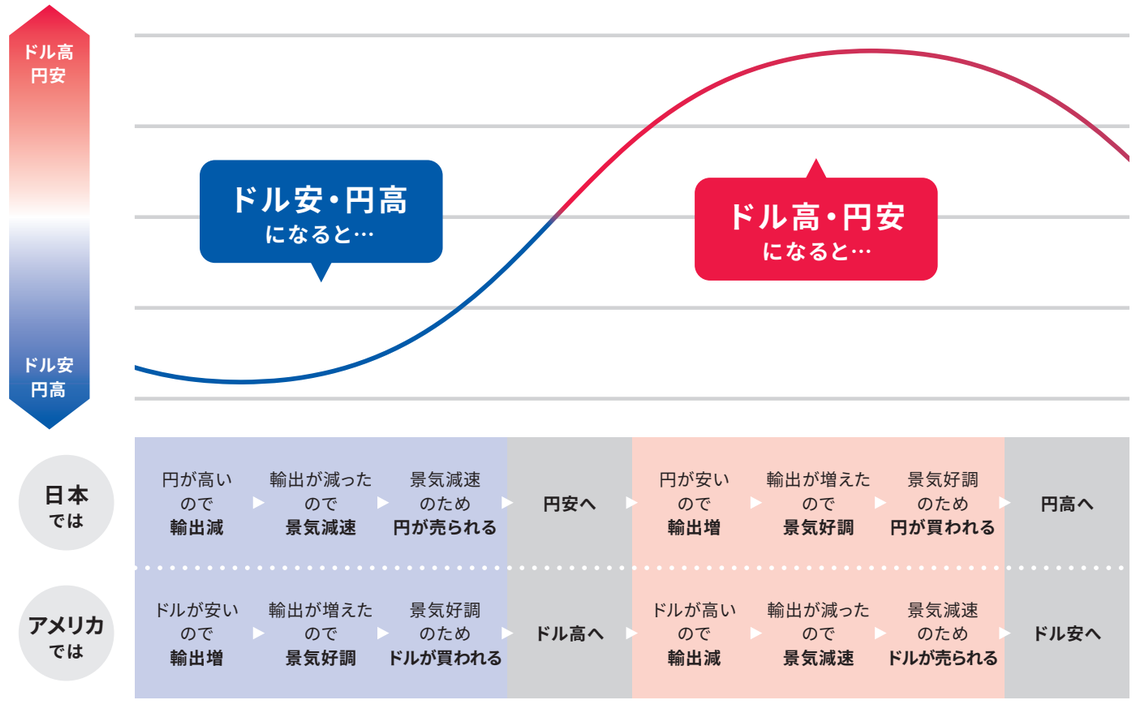


トラリピはFXに向いている？

実際のチャートでみると以下のように一定の範囲内で上下に行ったり来たりしていると
レンジ相場と判断できます。

オーストラリアドル/円　日足チャート　2022/6/6〜2022/10/25

実はFX市場はほかの金融市場に比べて**レンジ相場を形成しやすい**といわれています。
以下に一例として、米ドル/円のレートの動きについて
アメリカと日本の貿易による変動にスポットを当てて、説明します。



※その他の見方もあります。

このようにドル高・円安→ドル安・円高→ドル高・円安…といった流れを繰り返す
経済的な背景があるため、FX市場は行ったり来たりする**レンジ相場になりやすい**傾向があります。
（上記は例として貿易による変動についてご説明しましたが、
そのほか政策金利や政治等さまざまな影響をうけてレートは変動します。）

しかし！レンジ相場だからといって
どんな設定でも利益が出るというわけではありません

トラリピの設定内容が**相場**とあまりにも合っていないと**トラリピがなかなか稼働しない**
（注文が成立しない、決済されない）といった状態になります。
トラリピがうまく稼働するためのポイントを以降のトラリピ注文の設定項の解説でご案内します。

トラリピの注文画面

PCトラリピの注文画面

【追加設定】をクリックすると
「決済トレール」「ストップロス」「レンジシフト」
の設定画面が表示されます。

左図はトラリピの注文画面です。
トラリピを注文する際はお客様に

①通貨ペア
②売買
③レンジ
④注文数量
⑤トラップ本数
⑥利益値幅/利益金額
⑦決済トレール（設定するか/しないか）
⑧ストップロス（価格を指定するか/設定しないか）
⑨レンジシフト（設定するか/しないか）
を決めていただきます。

設定項目のうち、
⑦決済トレール ⑧ストップロス
⑨レンジシフトはお客様の任意で設定
するかしないか決めることが可能です。

ここも チェック！

せま得 とは？

せま得の対象となっているトラリピ注文は
スワップが優遇されます。

せま得については
「売買」や「利益値幅/利益金額」の解説ページ
でご案内しています。

トラリピ注文画面はどこから表示できる？

PC

① トレード画面へ click

マネースクエアホームページ右上の
「トレード画面へ」をクリック

② ログインID※ / パスワード / 取引サイトにログインする click

取引サイトにログイン

③ ホーム チャート トラリピ管理表 トラリピ注文 click

取引画面上部
【トラリピ注文】をクリック

アプリ

① ログインID 保存 / パスワード 保存 / 生体認証 / ログイン tap

アプリにログイン

② ホーム レート一覧 新規注文 トラリピ管理 照会・決済 tap

「新規注文」
をタップ

スマートフォンでの取引には
アプリをご利用ください。

トラリピFX/CFDアプリ
アプリのインストールに
ついてはこちら

①通貨ペア

ポイント

総推移が大きく、高低差が小さい通貨ペアがトラリピ向き

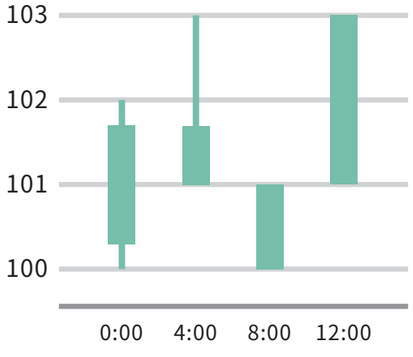
通貨ペアは「米ドル/円」や「ユーロ/円」など複数ありますが、
トラリピに向いている「レンジ相場」となっている通貨ペアを見つけるためのデータとして
「総推移」と「高低差」について説明します。

総推移

総推移とは、期間中に「トータルの値動き」がどれくらいあったのかを示すデータの名称です。
当社では「4時間ごとの高低差を足し算」して総推移を算出しています。
総推移が大きい（＝値動きが大きい）通貨ペアはトラリピ向きと言えます。

例えば以下のように米ドル/円が動いていた場合

米ドル/円4時間足のチャート



100円〜103円
の間を動いている

高低差と総推移の表

時間	高低差
0:00	**2円**（102円〜100円）
4:00	**2円**（103円〜101円）
8:00	**1円**（101円〜100円）
12:00	**2円**（103円〜101円）
合計（総推移）	7円

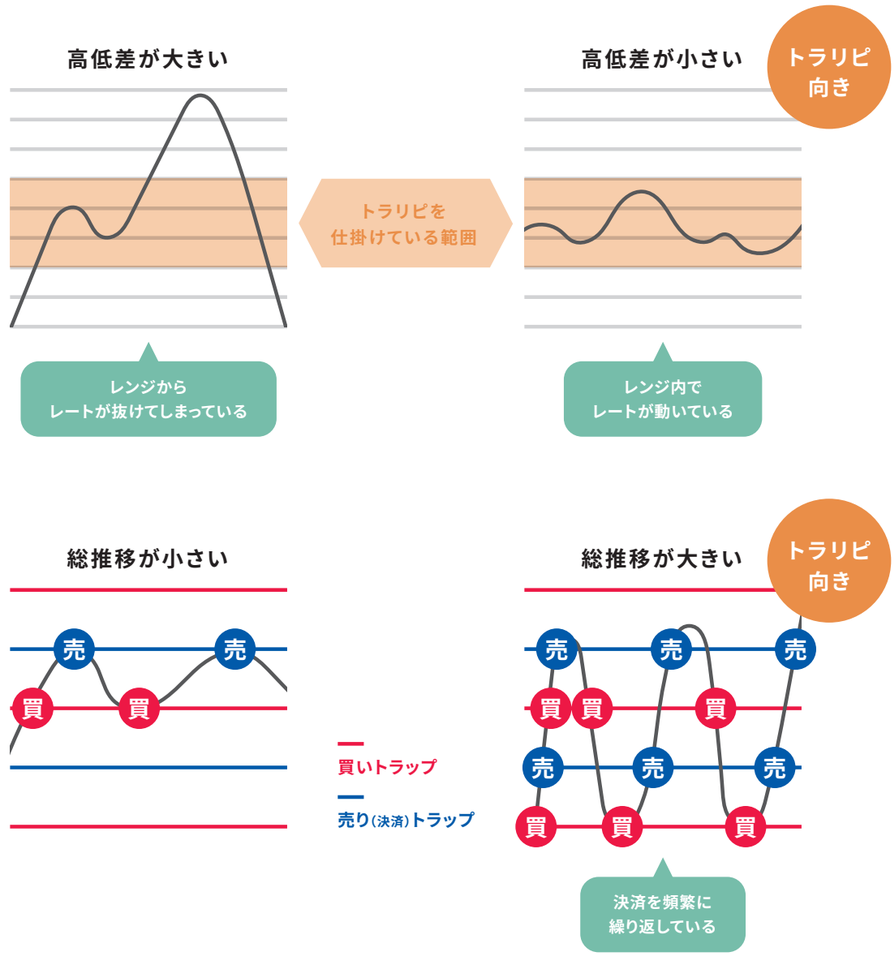
高低差3円に対して
総推移は7円

つまりレートが大きく動いていなくても、細かな値動きはしているということです。
トラリピではこの総推移をねらって利益を積み重ねます。

高低差

高低差とは、ある一定期間中の**「高値と安値の価格差」**を計算したデータの名称です。
高低差が小さい場合、値動きする範囲が小さいため、トラリピでカバーする範囲も小さく済みます。

高低差と総推移のまとめ



①通貨ペア

総推移が大きく、高低差が小さい通貨ペアとは

狭い範囲で細かく動いていており、**レンジ相場である可能性が高い**です。
そのように動いている通貨ペアでトラリピを仕掛けると細かい決済を繰り返し、
利益を蓄積することが可能です。
通貨ペアの総推移や高低差を確認してトラリピ向きの通貨ペアを見つけましょう。

総推移・高低差のデータはどこから確認できる？

通貨ペアごとの総推移・高低差はお客様専用ページ「マーケット情報」のページ下部「各種データ」内「騰落表」より確認できます。
（ https://www.m2j.co.jp/mp/market/rise-fall ）
※お客様専用ページにログインが必要です。

FXとCFDが1つの取引画面に！

トラリピFXとトラリピCFDのお取引が一つの取引画面で可能です！

なお、トラリピFX口座とトラリピCFD口座は、
維持率の計算やロスカット判定等は別々に行われますのでご留意ください。

トラリピCFDの概要は下記URLをご参照ください。

取引概要（トラリピCFD）
https://www.m2j.co.jp/m2jfx-guide/cfd/outline

②売りと買い

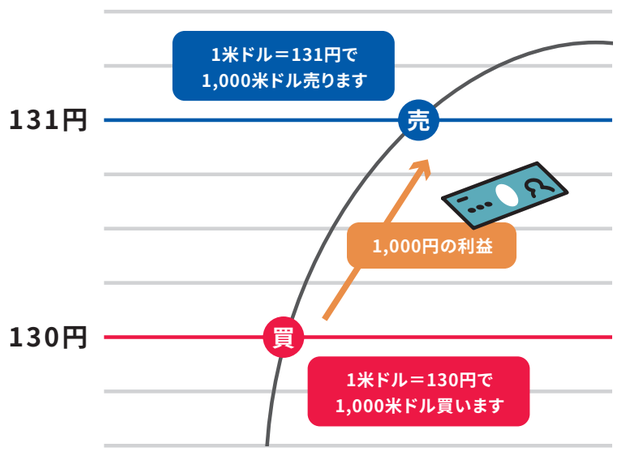
ポイント　**売りからでも買いからでも可能**
ただしスワップに要注意！

FXは買いからだけではなく売りからも始められるのが特徴です。
買いからの取引はイメージしやすいかと思いますが、
安いところで買って、高いところで売ると利益がでます。

一方、**売りからの取引**では高いところで外貨を売ります。
（FX会社に外貨を貸してもらい売るようなイメージです）
その後、レートが下がったところで外貨を買い戻します。
（買い戻した外貨をFX会社へ返却）
高いところで外貨を売って、安いところで外貨を買い戻すことによって、
その差額分が利益となります。

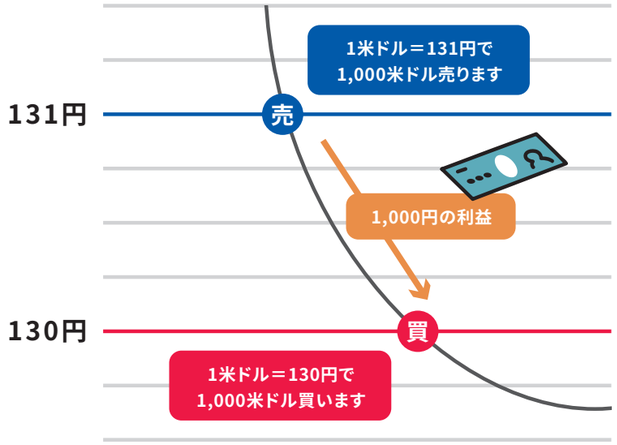
トラリピの場合も同様に、**買いトラリピ**であれば買い注文成立後、
決済売り注文までレートが上昇すると利益を得られます。
売りトラリピであれば売り注文成立後、
決済買い注文までレートが下落すると利益を得られます。

買いトラリピ



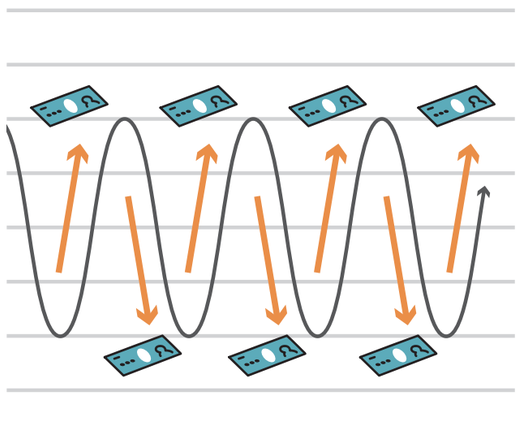
②売りと買い

売りトラリピ



下図のようなレンジ相場の場合、上下動を繰り返すので、
買いトラリピであっても売りトラリピであっても収益チャンスがあります。

レンジ相場



**買いトラリピは買った後に
レートが上昇した時、
売りトラリピは売った後に
レートが下がった時に
収益チャンスがあります。**

注意ポイント！スワップ

売りからでも買いからでも取引できるトラリピですが、
売りと買いでは付与されるスワップ金額が異なります。
このため、**トラリピ注文にあたっては、スワップの金額を確認**しましょう。

スワップ

2国間の金利差のことをいいます。
原則は、金利の高い方の通貨を買うとスワップを受け取れ、
逆に、金利の高い通貨を売るとスワップを支払うという仕組みです。
※スワップは各国金利情勢等により、「受取り」から「支払い」に転じること、
または買いポジションと売りポジションともに支払いとなることもあります。

例えばある通貨ペアで買いポジションには＋3円、
売りポジションには－5円のスワップが日々付与されるとします。
※スワップはポジション成立後2営業日目から付与されます。

ポジション成立から…

4営業日目までポジションに累積したスワップは
買いポジション：＋9円　売りポジション：－15円

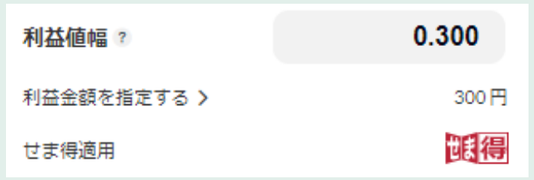
② 売りと買い

スワップはどこから確認できる？

通貨ペアごとのスワップ金額は取引画面メニューの「スワップカレンダー」より確認できます。
（ https://www.m2j.co.jp/m2jfx-guide/swap ）

スワップがお得になる？！「せま得」とは

「せま得」はトラリピ注文で利益値幅を一定以内におさめると
優遇スワップが付与されるサービスです。
どのように優遇されるのかというと、受け取るスワップは通常スワップよりも多く、
支払いのスワップは通常よりも少ない支払いとなります。



せま得の対象となる
トラリピは
注文画面でこのように
マークが表示されます。

せま得の対象となるためには利益値幅以外にも
ポジションの成立日など条件があります。
せま得ページで条件をご確認ください。

せま得（ https://www.m2j.co.jp/mp/sematoku ）
※お客様専用ページにログインが必要です。

③ レンジ

ポイント

高低差とエンベロープで レートの動く範囲をチェック

レンジとはトラリピの仕掛ける範囲のことです。
レンジ外でレートが動いていてもトラリピの注文は成立しません。
（このように取引が行われず**収益チャンスを逃がす**ことで
得られるはずの利益を失うことを**機会損失**といいます）
ここではレンジを決めるときに参考になる
高低差と**エンベロープ（テクニカル）**について説明します。

高低差

※高低差については「通貨ペア」の解説ページでご案内しています。

米ドル/円（月次）2021年の騰落表

月間	始値	高値	安値	終値	高低差
2021/1	103.160	104.889	102.579	104.711	2.320
2021/2	104.699	106.647	104.391	106.556	2.256
2021/3	106.468	110.941	106.347	110.704	4.594
2021/4	110.725	110.799	107.466	109.296	3.333
2021/5	109.284	110.158	108.325	109.510	1.833

2021年の米ドル/円の高低差を確認すると、1月～5月の平均が**2.8672円**と計算されます。

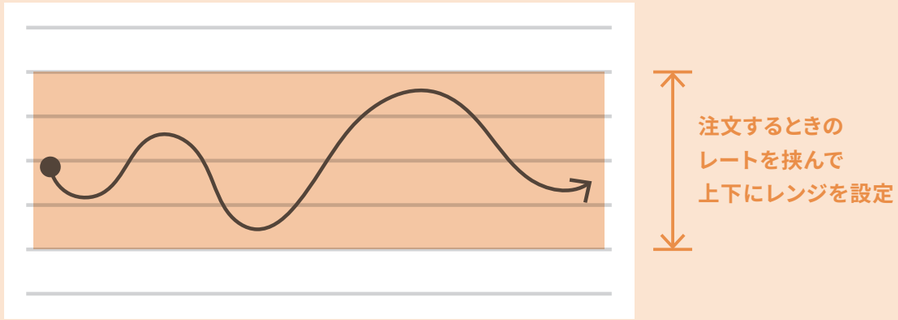
もし1か月ほどトラリピの設定内容を変更したくないという場合、
1か月平均の高低差を目安に設定すれば理論上1か月くらいは値動きをカバーできる、ということになります。

このように高低差で、レートの動く幅を確認することができます。

③レンジ

仕掛けの中心は現在レート

仕掛けの中心（レンジの中央）を現在レートにすると
レートが上に動いても下に動いてもトラップがある状態となります。
トラリピ注文の際、現在レートを基準として、
上下にレンジを仕掛けてもよいかもしれません。



例えば現在レートを110円、高低差を3円とした場合、
レンジの上限は111.5円、下限は108.5円となり、
現在レートを挟んで上下にトラリピを仕掛けることができます。

ちょっと
難しいですが
是非チャレンジ
してみましょう

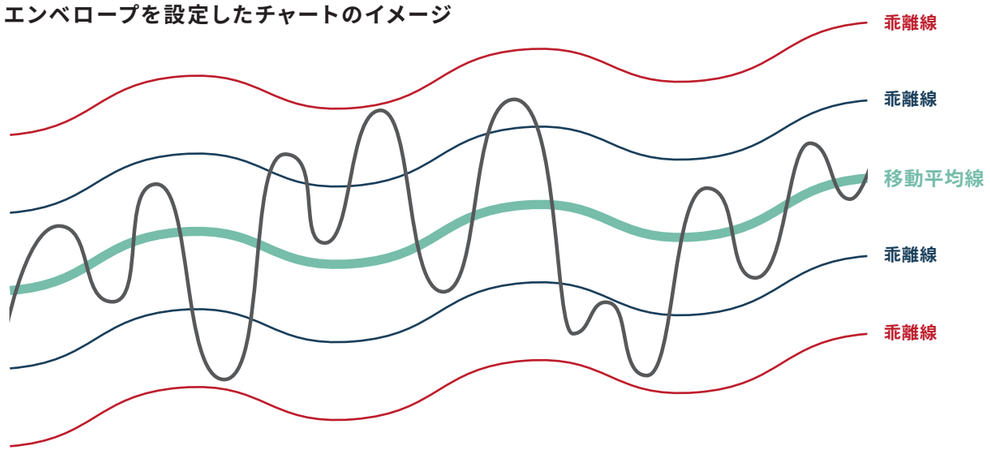
エンベロープ

エンベロープはチャート上に表示できるテクニカル指標の1つです。
ここではエンベロープを活用してトラリピのレンジを決める方法をご案内します。
※テクニカル指標とは過去の価格等のデータを基に算出された数値のことです。

エンベロープ

移動平均線を中心として上下に一定の間隔（乖離率）だけ離れた位置を線（乖離線）で結んだもので、価格が移動平均線からどの程度離れたかを見るために用いる。
※**移動平均線**とは、ある一定期間における終値の平均値をつなげて折れ線グラフにしたものです。

エンベロープを設定したチャートのイメージ



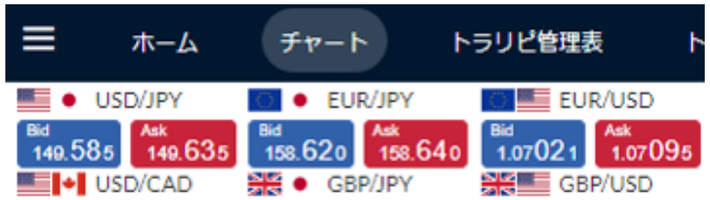
エンベロープを設定すると上図のようにレートの上に
移動平均線と**乖離線**が表示されます。
レートは**移動平均線に対し一定の乖離範囲内で推移**する傾向※があります。
このため乖離範囲はレンジ（トラリピの仕掛ける範囲）の参考値となります。
※レンジ相場を前提とした場合

また、乖離範囲から大きく外れてレートが推移している場合、
レンジ相場（＝トラリピ向き）ではなくトレンド相場（＝トラリピ向きではない）に
なっていると判断することができます。

チャートにエンベロープを設定する方法

PC取引画面のチャートでエンベロープを設定する方法をご案内します。
※スマートフォンアプリの場合はこちらの操作ガイドをご確認ください
https://qa.m2j.co.jp/faq/show/5066?site_domain=default

STEP1



取引画面左上「チャート」をクリック

STEP2

チャートの「テクニカル追加・編集」をクリック

STEP3

エンベロープを選択し、
【追加】をクリック

STEP4

期間や乖離率を入力し
【保存】をクリック

設定する期間と乖離率について

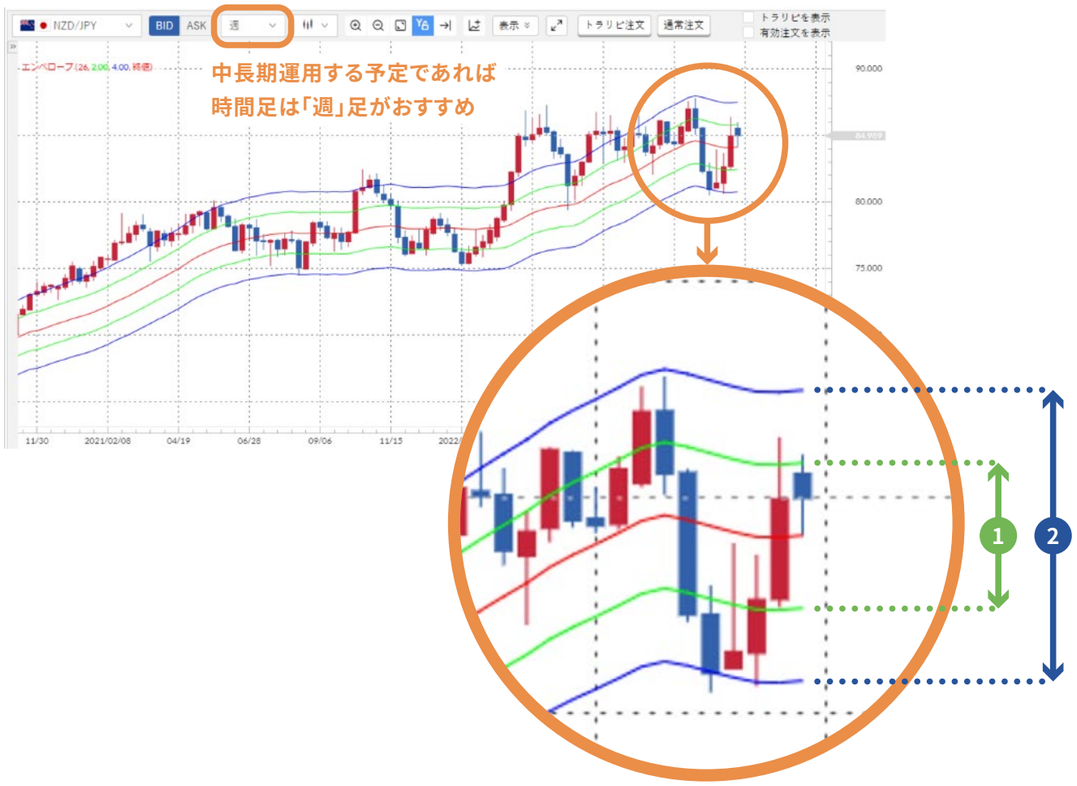
当社のおすすめは…
- **期間：26**
- **乖離率(%)1：2.00**
- **乖離率(%)2：4.00**

期間を「26」とした場合、週足チャートだと「26週」なので、
おおよそ半年間くらいのデータということになります。
また、上記設定内容はチャートのエンベロープ初期値と同じですので、
当社のおすすめ内容でされる場合はそのまま【設定】をクリックしてください。

③レンジ

チャートにエンベロープが表示されます。

ニュージーランドドル/円　週足チャート　2021/11/16～2022/10/25



①の範囲　移動平均線から乖離率±2%の範囲

②の範囲　移動平均線から乖離率±4%の範囲

中長期で運用するようであればこの範囲までトラリピを仕掛けると
レンジを抜けるリスクをある程度抑えることができるので、目安にしてください。
（レンジ相場を前提とした場合）

当社ではマーケット情報（レポート・動画等）を豊富に揃えています。
エンベロープを始めとしてテクニカルを用いたチャートの使い方、
日々のマーケット情報をわかりやすく説明していますので、是非ご覧ください。

マーケット情報
https://www.m2j.co.jp/market

MONEY SQUARE　公式YouTube
https://www.youtube.com/c/MONEYSQUARE

困ったときのお役立ちコンテンツ

高低差やエンベロープは難しいと感じた方は
【レンジマップ】を参考にしてみましょう。

① 取引画面メニューをクリック

② 「トラリピ・レンジマップ」をクリック

③ トラリピレンジマップが表示されます

トラリピレンジマップ
当社お客様が仕掛けている全トラリピの
注文状況をグラフ化したもの

④注文数量

ポイント　**必要資金を確認して注文数量を調整しよう**

注文数量とはトラップ1本あたりの注文量を指す用語です。

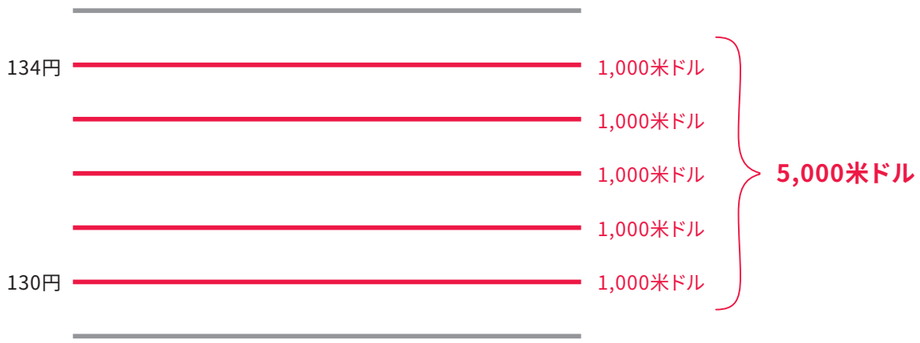
注文数量の売買単位

●南アフリカランド/円、メキシコペソ/円、Nクローネ/Sクローナ以外の通貨ペア
→ **1,000通貨単位**

●南アフリカランド/円、メキシコペソ/円、Nクローネ/Sクローナ
→ **1万通貨単位**

例えば米ドル/円（買いトラリピ）で
130円～134円のレンジ、**トラップ本数5本**、**注文数量0.1万通貨**
とした場合、下図のようにトラップが並べられ、
トラップ1本につき1,000米ドル（0.1万通貨）買う取引となります。

この場合、トータルの取引量は
注文数量（0.1万通貨）×トラップ本数（5本）＝5,000米ドルとなります。



つまり**注文数量が大きくなる**と取引量＝**必要資金（証拠金）が増加**します。

注文数量が大きいことによるメリットは？

前頁で説明の通り、注文数量が多いと証拠金が増加するため少ないほうがよいのかと思われますが、口座の資金に対して少なすぎると取引に使われない部分（つまりただ何も変動がなく預けているだけの状態）が多くある状態のため、**運用効率が下がります**。

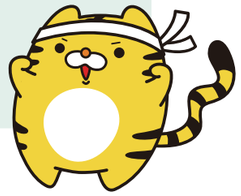
また、注文数量を上げることで**「利益値幅」が小さくなるといったメリット**もあります。
利益値幅は以下計算式で算出されます。

利益値幅＝利益金額÷注文数量

つまり、**利益金額が同じであれば注文数量が多ければ多いほど、利益値幅が小さくなる**ということです。

利益値幅が小さいと、新規注文成立（ポジション成立）後
小さな値動きで決済されるため、決済回数が多くなる可能性があります。
（例えば利益値幅1円の場合は決済成立まで1円レートが動く必要があり、
利益値幅が0.1円であれば決済成立まで0.1円の値動きで済みます）

※利益値幅についてはP.37「利益値幅/利益金額」で詳しく説明しています。



以上のように注文数量が多い場合は証拠金が増えますが、利益値幅が小さくなるといったメリットもあるので、運用にあてる資金に合わせた注文数量を設定する必要があります。
「トラリピのリスクを試算」を利用して**必要資金やロスカットレート等を確認**しながら**注文数量を設定**しましょう。

※「トラリピのリスクを試算」はP.59で説明しています。

⑤トラップ本数

ポイント　**トラップ値幅と必要資金を確認して本数を調整しよう**

トラップ本数とはレンジ内（トラリピを仕掛ける範囲）に、
合計で何本の注文を並べるかを指す用語です（1本～最大101本まで設定可能）。
また、**トラップ値幅**とはレンジ内で、トラップ本数の1本1本が
何円おきに並んでいるのかを指す用語です。

同じレンジ幅でトラップ本数を増やした場合

米ドル/円、レンジ130円～135円（買いトラリピ）

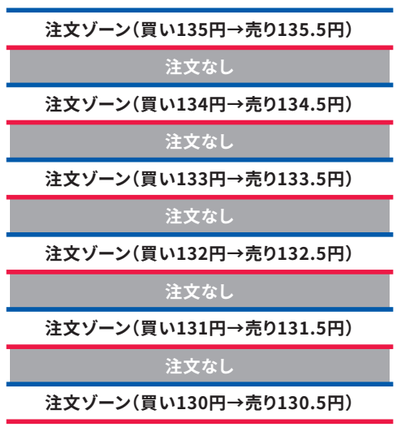
上記のように同じレンジであればトラップ本数が多いと、トラップ値幅は小さくなります。
では、トラップ値幅はいくらくらいで設定したらよいでしょうか。

トラップ値幅＝利益値幅　もしくは　**トラップ値幅＜利益値幅**

となるようにトラップ値幅・利益値幅を設定してみるのもよいでしょう。
こうすることで**非効率なゾーンを無くす**ことができます。

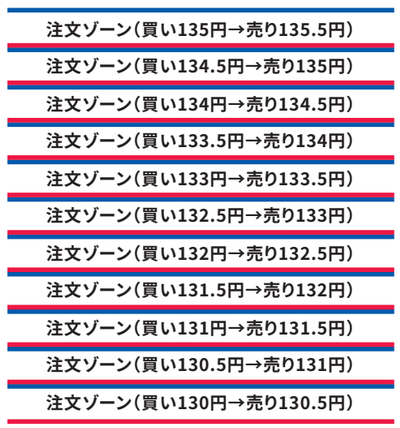
非効率なゾーンとは？

トラップ値幅＞利益値幅で設定した場合



例えば米ドル/円、レンジ130円～135円、トラップ本数6本（トラップ値幅1円）、利益値幅0.5円の買いトラリピは上図のように注文が入ります。
そうすると売りが成立後、次の買いのトラップまで0.5円開いており、その間は何も注文が無い状態です。
せっかくレンジ内でレートが動いていても、注文が無いところで動いていては取引されません。
このため**【注文なし】のゾーンを【非効率なゾーン】と呼びます。**

トラップ値幅＝利益値幅で設定した場合



今度は先ほどと通貨ペアとレンジは同じ（米ドル円、レンジ130円～135円）でトラップ本数11本（トラップ値幅0.5円）、利益値幅0.5円とします。

**注文なしのゾーンがなくなり、
レンジ内で動いた分だけ
トラリピが利益を獲得してくれます。**

⑤トラップ本数

※ちなみにトラップ値幅＜利益値幅とした場合

同じく注文なしのゾーン（非効率ゾーン）がなくなりますが、
一方でトラップ値幅＝利益値幅の設定に比べると、
トラップ値幅＜利益値幅は1つのトラップが決済される前に次のトラップが成立する
ことになるので、場合によってはポジションが一時的に増加することがあります。

**トラップ値幅と利益値幅は
どこで確認できる？**

トラリピ注文で確認可能です。

※トラップ値幅の計算式は
（レンジ上限－レンジ下限）÷（トラップ本数－1）です。
例えばトラップ値幅を小さくしたい場合はトラップ本数を増やす、
もしくはレンジを小さくすることによって可能です。

このようにトラップ本数についてはトラップ値幅と利益値幅を確認しながら
本数を調整することをおすすめします。

ただし、本数を増やすとその分取引量が増えて必要資金も増加しますので、
注文数量と同様「トラリピのリスクを試算」を利用して必要資金等も確認しましょう。

※「トラリピのリスクを試算」はP.59で説明しています。

⑥利益値幅/利益金額

ポイント

1日あたりどのくらい値動きがあるか チェックして決めよう

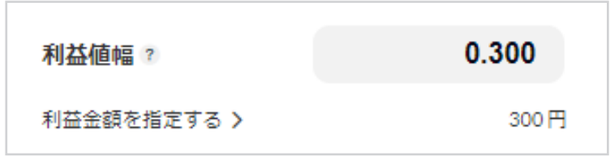
利益値幅/利益金額の設定するうえでのポイントの解説の前に、
利益値幅と利益金額の違いについて説明します。

利益値幅	**買ってから売る（もしくは売ってから買い戻す）までの値幅** 例：100円で買って101円で売る場合は利益値幅1円（101円－100円）
利益金額	**1回の決済で得る利益の金額** 例：1回の決済で1,000円の利益を得たい場合は利益金額1,000円

注文画面では利益値幅と利益金額の両方入力する項目がありますが、
どちらか一方のみを入力すればもう一方は自動的に変更されますので、
両方入力する必要はありません。

利益値幅は**利益金額÷注文数量**
利益金額は**利益値幅×注文数量**　で計算されます。

注文画面



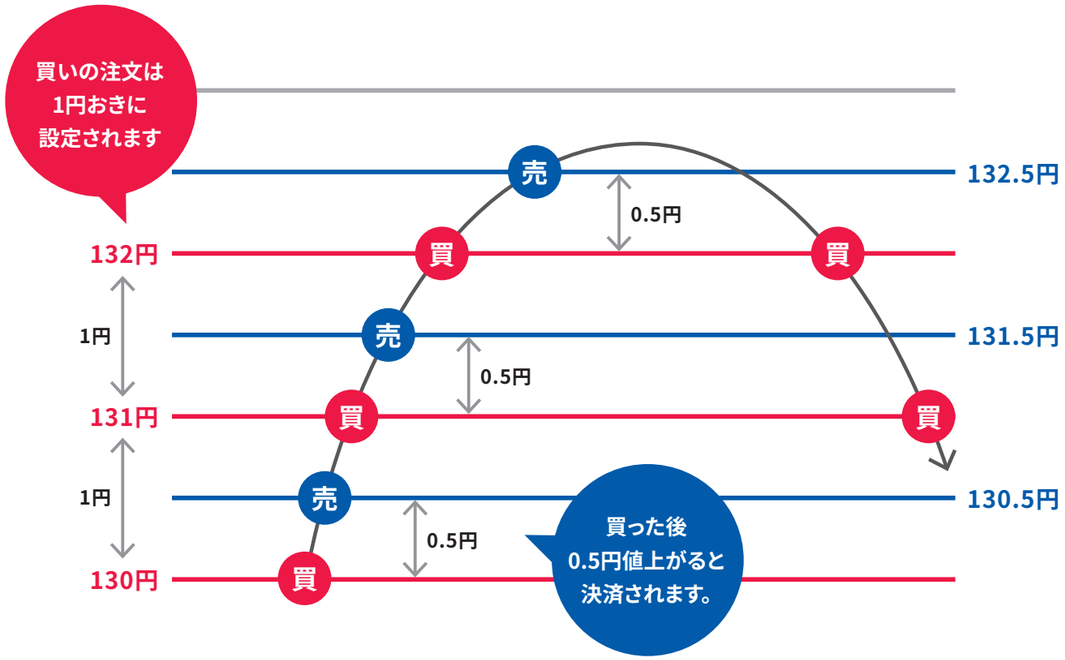
（例えば注文数量1,000通貨で）
利益値幅を「**0.300**」と入力したら
利益金額は自動的に「**300**」と
計算されます。

また、利益値幅とトラップ値幅は混同しやすいので、しっかり違いを理解しましょう。

⑥利益値幅/利益金額

利益値幅とトラップ値幅の違い

米ドル/円の買いトラリピ　レンジ（130円～132円）、
トラップ本数3本（**トラップ値幅1円**）、**利益値幅0.5円**の場合

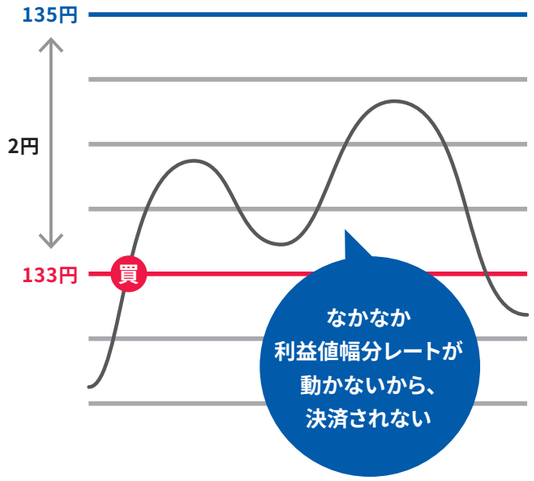


それでは利益値幅/利益金額はどれくらいに設定したほうがよいのでしょうか。

利益値幅は広いと1回決済されることで大きな利益を得られますが、
その分レートが動く必要があるため、
通貨ペアの動きにあっていないような幅で設定している場合、
なかなか決済されないといったデメリットがあります。

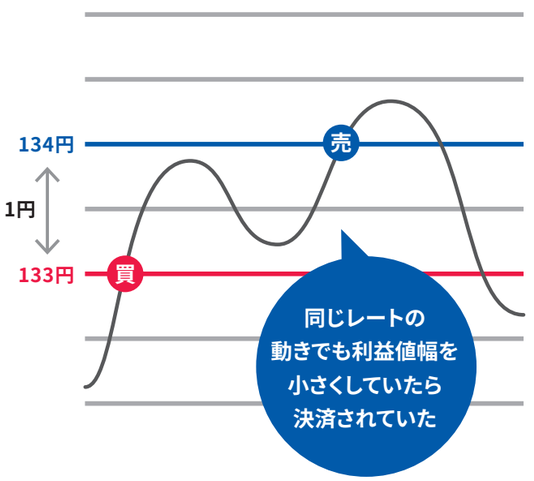
利益値幅が広すぎると…

（利益値幅2円）



利益値幅を小さくしたら…

（利益値幅1円）



上記は利益値幅を小さくした方がよい例ですが、
一方ある程度大きく動くような通貨ペアで利益値幅が狭すぎると、
本来もっと大きな利益を狙えたはずが、小さい利益で決済されてしまった
といったデメリットもあります。

そこでトラリピを仕掛ける通貨ペアでどのくらいの値動きがあるのか
というデータを確認して最適な利益値幅（利益金額）を設定することがポイントです。

次ページではその値動きの幅を確認できるテクニカル指標として
ATRについて説明します。

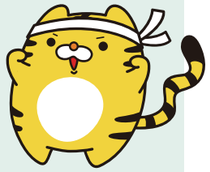
⑥利益値幅/利益金額

ATR

ATRはサブチャート（チャートの下に表示されます）で設定できるテクニカル指標です。
レンジ（P.27）で紹介したエンベロープよりも見方が簡単なので是非チャレンジしてみましょう。

ATR

アベレージ・トゥルー・レンジの略です。「当日高値－当日安値」「当日高値－前日終値」
「当日安値－前日終値」のうち最大値を平均化したもので、
日足でしたら1日にどのくらい平均して値動きがあるのかを見ることができます。



チャートにATRを設定する方法

STEP1、2についてはP.28でご案内のエンベロープと同じなので割愛します。
以下STEP3のATRを選択する画面からご説明します。

STEP3

ATRを選択し、【追加】をクリック

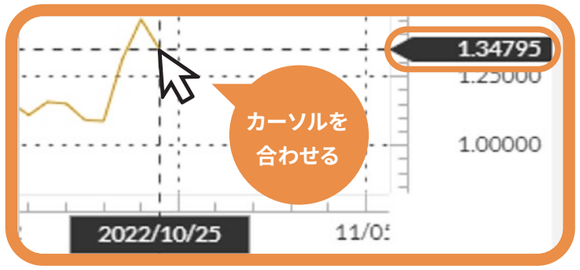
STEP4

期間等を入力し【保存】をクリック

チャート（ローソク足）の下にATRが表示されます。

カナダドル/円　日足チャート　2022/6/6～2022/10/25

例えばATRが右図のように約1.3と表示されていると直近の平均で1日あたり1.3円ほど動いているということになるので、利益値幅を0.6円～0.7円くらいに設定していると1日1回～2回決済される可能性があるということになります。



設定する期間について

ATRの一般的な期間は「14」です。
このため初期設定では「14」となっていますが、
中長期でトラリピを運用される場合は「20」もおすすめです
（日足だと20日間となり、1カ月の営業日の日数に相当します）。

⑥利益値幅/利益金額

せま得になるように利益値幅は調整したほうがいい？

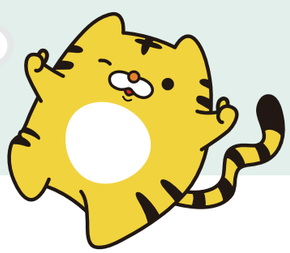
P.24で案内しましたが、当社では「**せま得**」というサービスがあり、
利益値幅が一定以内であった場合せま得が適用され、
スワップが通常の金額よりも優遇されます。

それではせま得が適用されるように利益値幅を調整した方が得かというと、
相場状況によって「せま得」を適用しない方が結果的に
大きな利益を得られる場合もあります。

例えば、ある程度大きく値動きするような相場状況であれば
利益値幅が大きくても決済される回数が増える可能性があります。
そういった相場でせま得となるように利益値幅を小さくしていた場合、
優遇スワップを考慮しても結果的にせま得の対象外となるような
大きな利益値幅であったほうが得られた利益が高い可能性があるということです。

どちらが得かは結果的には相場状況によってきてしまいますが、
チャートのATR等で値幅を確認してみて、値動きが大きいかどうか等を判断材料として
せま得の対象となるように利益値幅を小さくするか、
対象外になってもいいから大きくするか、ご判断いただきますようお願いします。

せま得　https://www.m2j.co.jp/mp/sematoku
※お客様専用ページにログインが必要です。



ここまでがトラリピを設定するときに
入力必須の項目がぅ。
この後説明する「決済トレール」「ストップロス」
「レンジシフト」は任意で設定できるがぅ。

⑦（任意で設定）決済トレール

ポイント　**トレンド相場の場合は**
メリットが得られる可能性あり　任意で設定

決済トレールとは、トレンド相場で利益の極大化を狙うトラリピ独自の機能のことです。
例えば、買いトラリピで決済トレールを設定すると、**レートの上昇に追随して**
決済価格も上がり、当初**設定していた利益金額より大きな利益**を獲得できます。
※売りトラリピの場合は、レートの下落に追随して決済価格も下がることで、大きな利益を得ることができます。

このように説明すると「設定したほうがお得」と思われますが、
決済トレールにはデメリットがあり、特に狭い範囲で細かい値動きをしているような
相場の場合、決済トレールを設定することでなかなか決済が成立しない可能性があります。
（トラリピ注文の初期設定では「決済トレール」OFFとなっています）

決済トレール付ける？付けない？判断のポイント

○レンジ相場で決められた利益金額でコツコツ積み重ねたい
→ **決済トレールをつけることによるデメリットのほうが大きい可能性**

○トレンド相場、レンジ相場であっても大きく上下する通貨ペアで
トラリピを仕掛けて、1回の決済で大きな利益を狙いたい
→**決済トレール設定を検討**
（以下で説明の仕組みや注意事項をご理解の上、ご判断ください）

決済トレールの仕組みについて

決済トレールの仕組みは少し複雑です。
以下の説明については決済トレールの仕組みを理解したいという方だけ
ご覧いただければ大丈夫です。
（決済トレールを設定する予定がなければ
P.48「ストップロス」にお進みください）

わかりづらくて
すみませんがぅ

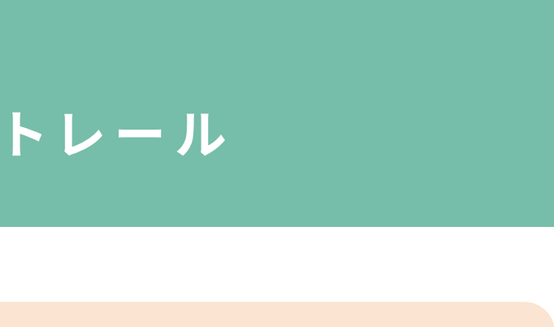
⑦（任意で設定）決済トレール

例：
米ドル/円の買いトラリピ レンジ（130円〜140円）、トラップ本数11本、注文数量1万円、利益値幅0.5円
のトラリピ注文に決済トレールを設定します。
このトラリピのトラップのうち、
新規買い注文130円、決済売り注文130.5円の注文について説明します。

まず、米ドル/円のレートが130円に到達して、買いポジションが成立します。
買いポジションの成立と同時に**最初のトレール判定価格（130.7円）**が有効になります。

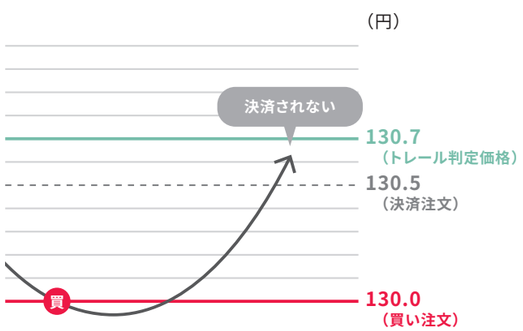
最初のトレール判定価格：
決済価格の0.2円（トレール値幅）上の価格で設定されます。

※売りトラリピの場合は0.2円下の価格
※下記通貨ペアのトレール値幅はそれぞれ以下のとおりです。
南アフリカランド/円・トルコリラ/円：0.10円
メキシコペソ/円：0.05円
Nクローネ/Sクローナ：0.0020Sクローナ
対米ドル等通貨：0.0020ドル
対英ポンド通貨：0.0020ポンド



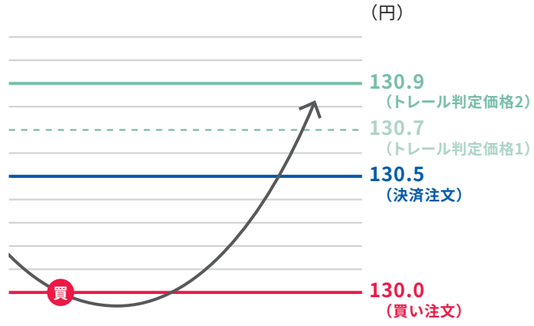
ポイント①

最初のトレール判定価格に到達するまでは
決済価格にレートが到達しても決済されません。



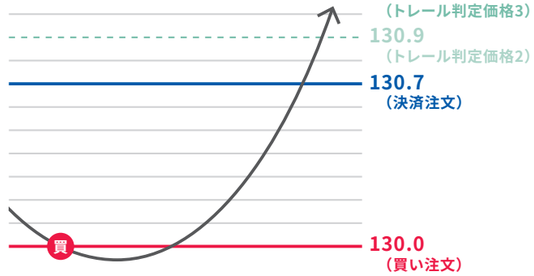
レートが最初のトレール判定価格（130.7円）を超えました

→**決済注文130.5円**が有効となり、**新たなトレール判定価格130.9円**が設定されます。
（新たなトレール判定価格は最初のトレール判定価格130.7円の0.2円上の価格で設定されます）



レートが次のトレール判定価格（130.9円）を超えました

→**決済注文の価格が130.5円から130.7円**に移動します。**新たなトレール判定価格131.1円**が設定されます。



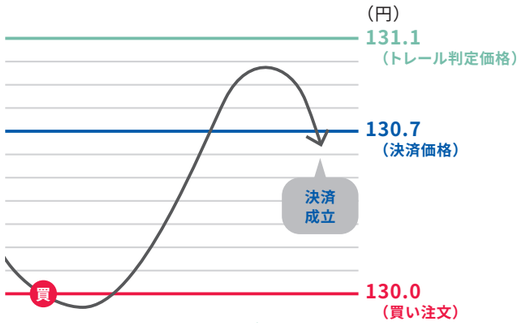
このようにトレール判定価格にレートが到達するごとに決済価格もトレール値幅分上に上がります（売りトラリピの場合は下に下がります）。

決済されるタイミングですが、
有効中の決済価格をレートが下回る（売りトラリピの場合は上回る）と決済されます。

⑦（任意で設定）決済トレール

決済注文が成立するタイミング

例えば前ページの場合だと決済価格が130.7円になっているので、トレール判定価格131.1円に到達せず、130.7円をレートが下回ると決済されます。



もともと決済価格130.5円（利益金額5,000円）が
130.7円（利益金額7,000円）で決済された。

ポイント②

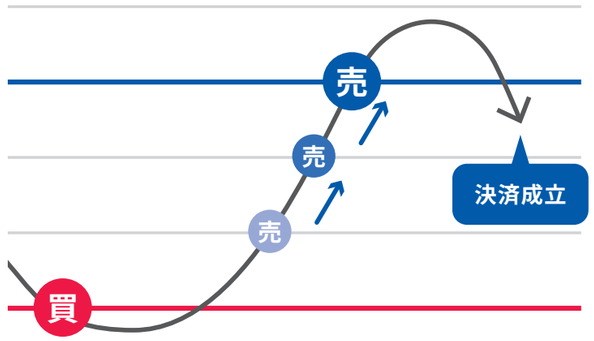
買いトラリピであれば決済価格までレートが下がれば（売りトラリピの場合は決済価格までレートが上がれば）決済注文が成立しますが、成立するときは成行で執行されます。
※成行とはその時のレートで注文が成立することです。

決済トレールの注意事項

スリッページが発生するリスクがあります。

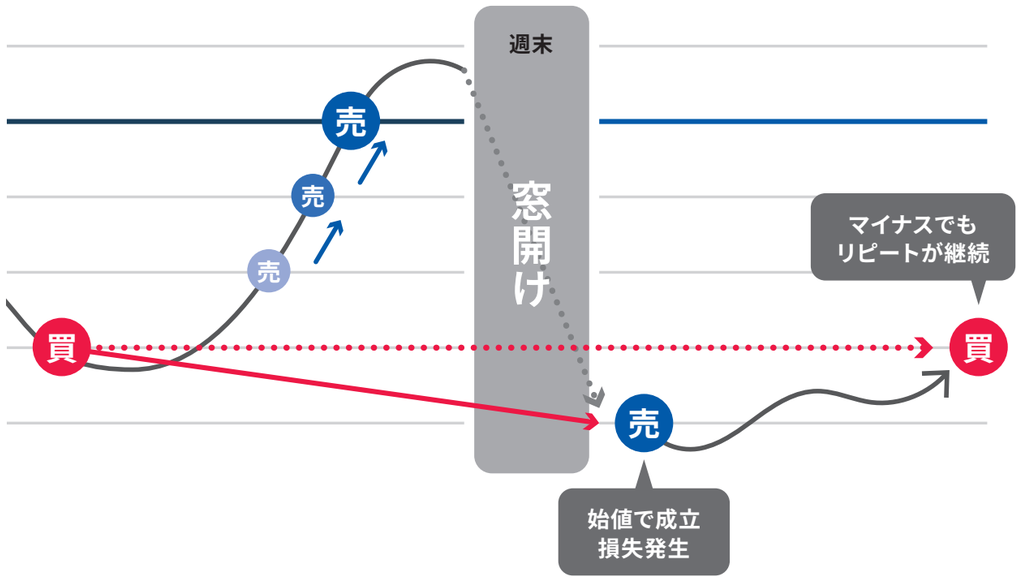
スリッページとは注文価格から乖離して成立することです。
決済トレールを設定しているトラリピの場合、
決済価格をレートが下回る（上回る）と成行で決済されます。
このため、注文中の決済価格と成立する価格に乖離（スリッページ）が発生するリスクがあります。

有効中の決済価格を
下回ったところで
成行決済



値動きによっては決済損益がマイナスとなることがあります。

窓開け時（週末のレートから乖離して週初のレートがスタートすることです）のように急に値が飛ぶような動きが発生した場合、決済損益がマイナスとなる場合があります
（例えば買いのトラリピで買いポジションの価格100円、有効中の決済価格101円の状態で週末を迎え、週初99円からスタートした場合、99円で決済されてしまいます）。
決済損益がマイナスとなった場合でも、口座の余力がある（注文ができる）状態であれば、リピートされます。



⑧（任意で設定）ストップロス

ポイント

ロスカットされる前に損切りしたい場合は設定を検討

任意で設定

ストップロスとはトラリピに設定できる「損切りの注文」です。
ストップロスを設定するかしないかについてはお客様の任意で決めることができます。
また、ストップロスはトラリピ注文後、後から設定したり価格を変更することもできます（ただし、ストップロスを外すということはできませんのでご注意ください）。

ストップロスを設定した場合

例えば米ドル/円の買いトラリピでレンジ（127円～130円、トラップ本数4本、利益値幅1円）にストップロスを120円で設定すると下記表のように注文が入ります。

※ストップロスは買いトラリピの場合はレンジ下限より下（売りトラリピの場合はレンジ上限より上）に設定します。

新規買い	決済売り	ストップロス
130円	131円	120円
129円	130円	120円
128円	129円	120円
127円	128円	120円

仮に買い注文（127円～130円）が決済待ちの状態で決済価格までレートが上がらず下がってしまい、ストップロスの120円まで到達すると、買い注文（127円～130円）で持っているポジションがすべて120円で決済されます。

ストップロスを付けることによるメリット

取引画面を見ていない間に相場が急変した場合もロスカットが執行される前にストップロスで損切りが行われて損失額を一定以内に収めることが可能（ストップロスで損切りされた場合にいくら損失額が発生するかについては「トラリピのリスクを試算」（P.59）で確認できます）。

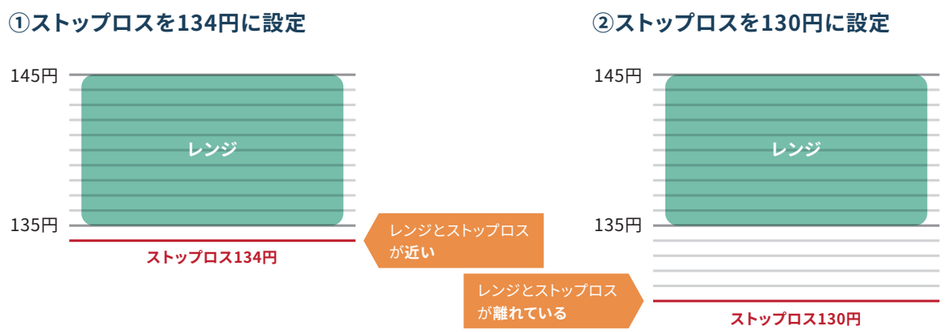
ストップロスを付けることによるデメリット

ストップロスで損切りされた後、レートが回復した場合、利益を獲得するチャンスを逃すことになります（ストップロスで損切りされずにロスカットされるのを持ちこたえていれば、利益を得られた可能性があったということです）。

ストップロスの価格を決めるためのポイント

ストップロスの価格がトラリピのレンジと近い場合、遠い場合のそれぞれメリット・デメリットをご案内します。

米ドル/円の買いトラリピ
（レンジ145円～135円、注文数量0.1万通貨、トラップ本数11本）



⑧（任意で設定）ストップロス

ストップロス134円の場合
（レンジとストップロスが近い場合）

メリット

ストップロスで決済されたときの損失が少なく済む（損失額－66,000円）

デメリット

ストップロスが近いため、すぐに損切りされるリスクが高い（損切りされた後、レートが上昇した場合利益を得られる機会を逃すことになる）

ストップロス130円の場合
（レンジとストップロスが離れている場合）

メリット

トラリピのレンジとストップロスが離れているためすぐに損切りされてしまうというリスクは低い（レートの上昇を待つ余裕が生まれる）

デメリット

130円で損切りされた場合、134円で損切りされた場合と比較すると損失額が大きくなる（損失額－11万円）

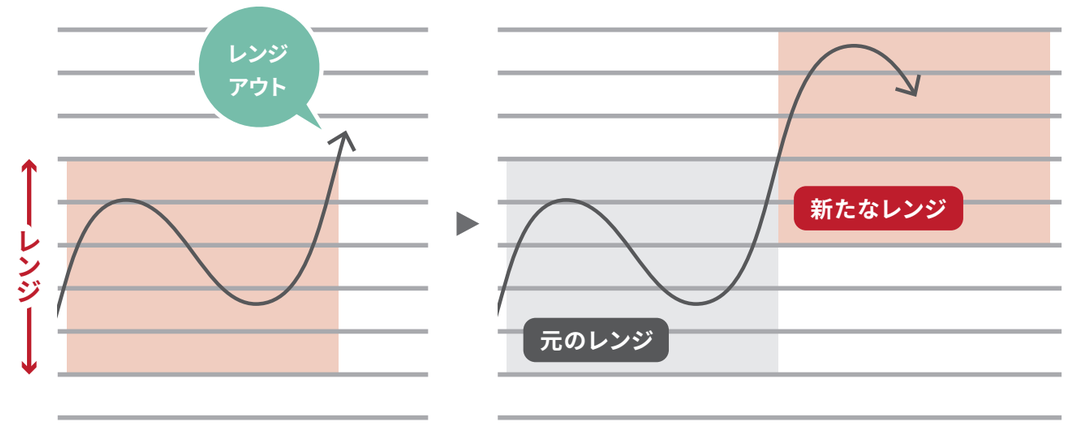
このようにトラリピのレンジに近いところにストップロスを設定した場合、
損失額は少なくなりますが**すぐに損切り**されてしまいます。
トラリピのレンジから離れたところにストップロスを設定した場合、
損失額は大きくなりますが**レートの回復を待つ余裕**が生まれます。

「トラリピのリスクを試算」でストップロスで決済された場合の損失額を確認して価格を調整しましょう。

⑨（任意で設定）レンジシフト

ポイント　レートの動きに応じてレンジがシフト（移動）する
ただしストップロスの設定は必須であることに注意

レンジシフトのイメージ（買いトラリピ）

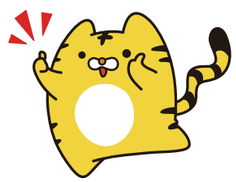


レンジシフトのメリット

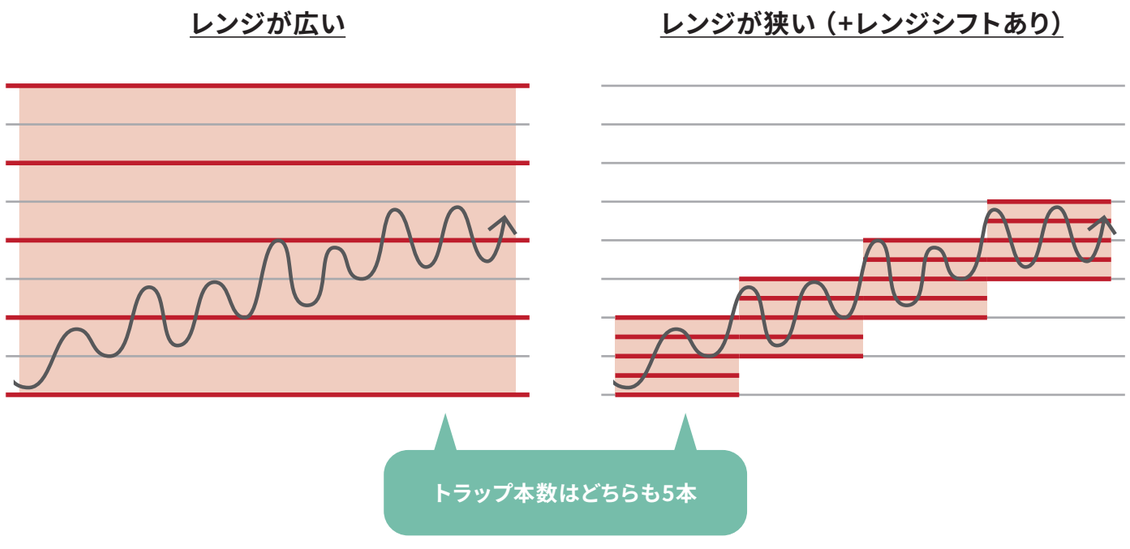
トラップ本数が同じトラリピで比べると・・・

	取引の成立しやすさ	レンジアウトのしにくさ
狭いレンジ	😄 **成立しやすい**	😪 **レンジアウトしやすい**
広いレンジ	😪 **成立しにくい**	😄 **レンジアウトしにくい**

レンジを狭く設定していても**レンジシフトをON**にしていれば、利益が出る方向にレートがレンジアウトした場合にレンジが自動的にシフト（移動）するので、**取引の成立しやすさ**と**レンジアウトのしにくさ**の両方が期待できます。



⑨（任意で設定）レンジシフト



レンジシフトの注意事項

レンジシフト設定には条件あり
特にストップロスが必須なことに注意

レンジシフトを設定するためには下記の条件を満たす必要があります。

- ☑ **ストップロスの設定が必須**
- ☑ **決済トレールの併用は不可**
- ☑ **現在レートが設定するレンジ内にある**
- ☑ **トラップ本数が2本以上**
- ☑ **利益値幅がシフト値幅（P.56）より小さい**

※既存のトラリピにレンジシフトを追加（設定）する場合、左記条件に加えて「トラリピの初回設定時からトラップ本数が変わっていないこと」を満たす必要があります。

特にストップロスの設定が必須のため、P.49で説明しているようなデメリットが生じる場合があります。

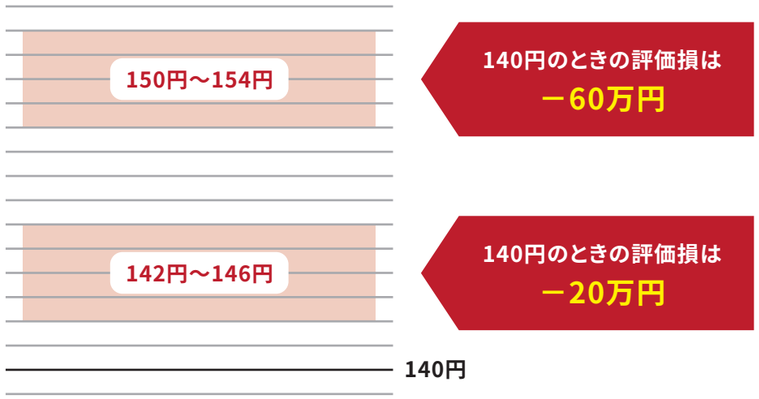
どうしてストップロスが必須なの？

例えば買いトラリピでレンジシフトした場合、当初設定されたレンジ内よりも高い位置でポジションを保有することになります。そこからレートが反転下落すると評価損が発生しますが、当初設定していたレンジと比べると想定以上に評価損が膨らむ恐れがあります。

（例）
USD/JPYの買いトラリピ
レンジ150円～154円、トラップ本数5本、1本あたり1万通貨
レンジ142円～146円、トラップ本数5本、1本あたり1万通貨

レンジ以外は同じ設定内容

買いポジションを全て保有した状態で140円までレートが下がった時の評価損を比較します。



このような損失拡大リスクを限定することを目的として、レンジシフトの設定に際しストップロスを必須にしています。

次のページからレンジシフトの細かい仕組みについて説明していくので、設定する予定がなければP.59（必要資金をチェック（トラリピのリスクを試算））にお進みください。

⑨（任意で設定）レンジシフト

シフトする条件

1.レートが利益の出る方向にレンジアウトした場合

買いトラリピ：レンジ上限をレートが上抜け
売りトラリピ：レンジ下限をレートが下抜け

上記の場合にシフトします。

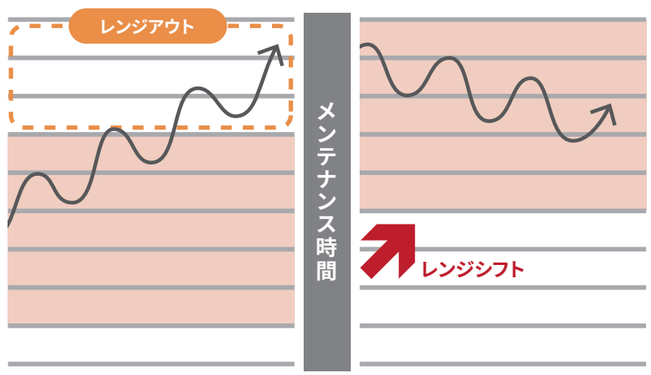
買いトラリピを例に説明すると「レンジ上限をレートが上抜け」というのは、
レンジ内で成立した買いポジションが順次利益確定（決済）されながら
レートがレンジアウトするイメージです。

2.シフトの判定は取引終了時点のレートで行います

レンジシフトするかどうかの判定は毎営業日の取引終了時点のレートで行います
（一日1回のみの判定です）。
条件を満たした場合、翌営業日の取引開始時に
レンジがシフトしたことを確認いただけます。

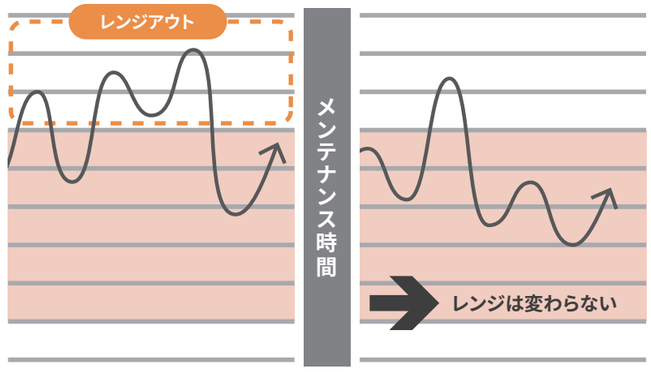
シフトするケース（買いトラリピ）

取引終了時点でレートがレンジを上抜け（利益が出る方向にレンジアウト）しているので、メンテナンス後の翌営業日取引開始時から新たなレンジで取引がスタートします。



シフトしないケース1（買いトラリピ）

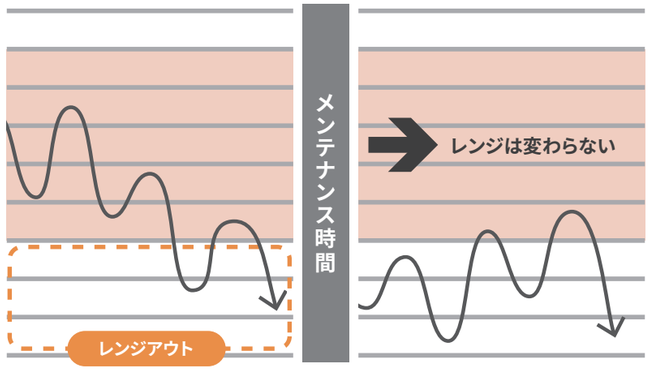
取引時間中にレートがレンジを上抜けたものの、取引終了時点でレンジ内に収まったためシフトしません。



⑨（任意で設定）レンジシフト

シフトしないケース2（買いトラリピ）

取引終了時点でレートがレンジを下抜け（損失が出る方向にレンジアウト）しているのでシフトしません。

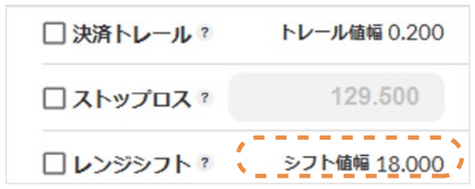


シフト後のレンジはどうやって決まる？

シフトする幅（シフト値幅）は、レンジとトラップ本数を基にシステムで自動計算され、
注文画面でご確認いただけます。シフト値幅はイメージとして
「レンジの概ね半分」とお考えください。

※「シフト値幅」分だけレンジシフトしても取引終了時点のレートがレンジ内に収まらない場合は、
　レンジ内に収まるまで「シフト値幅」×複数回、シフトします。

注文画面

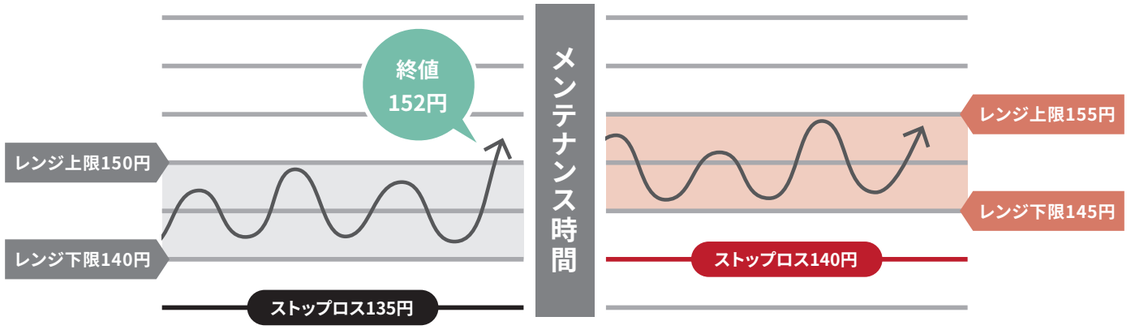


例
米ドル/円の買いトラリピ
レンジ140円～150円、ストップロス135円、
トラップ本数11本にレンジシフトを設定します。※シフト値幅は5円

米ドル/円の終値が152円

レンジ上限の150円を超えているため、シフトが発動します。
シフト値幅は5円なので、レンジとストップロスがそれぞれ5円上方にシフトします。

	シフト前	+5円 →	シフト後
レンジ	140円～150円		145円～155円
ストップロス	135円		140円

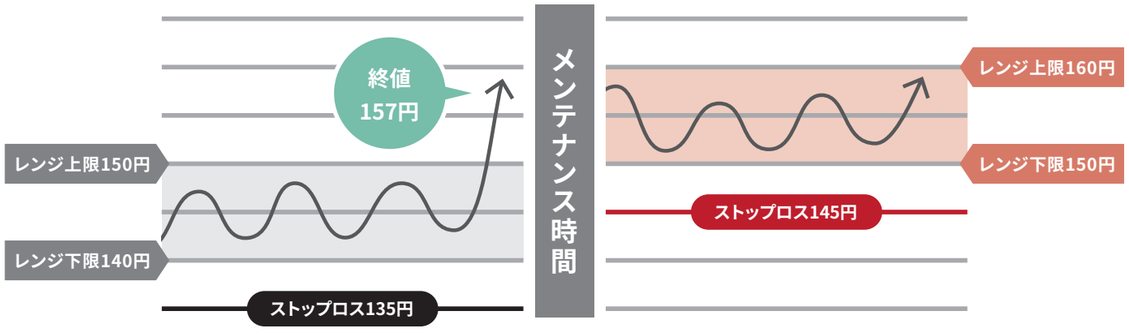


⑨（任意で設定）レンジシフト

米ドル/円の終値が157円

終値が157円だった場合、**シフト値幅（5円）分だけレンジがシフトしても、レートが収まりません。**このため**もう一度（2回目の）シフトが行われます。**
その結果、レンジとストップロスは10円（シフト値幅5円×2回）分上方にシフトします。

	シフト前	+10円 →	シフト後
レンジ	140円〜150円		150円〜160円
ストップロス	135円		145円



レンジシフトは任意設定の機能で、
トラリピ中上級者向けなので
トラリピ運用に慣れてきてから
検討してもよいがぅ

必要資金をチェック（トラリピのリスクを試算）

トラリピの設定項目が決まったら、注文する前にどれだけ証拠金がかかるのか、
ロスカットはいくらになったら執行されるのかといったことを
「**トラリピのリスクを試算**」で確認しましょう。

トラリピの注文画面

① トラリピの設定項目を入力

② 【リスクを試算】をクリック

③ 【トラリピのリスクを試算】が表示されます

必要資金をチェック（トラリピのリスクを試算）

「トラリピのリスクを試算」画面では様々な項目がありますので、
チェックポイントを絞って解説します。

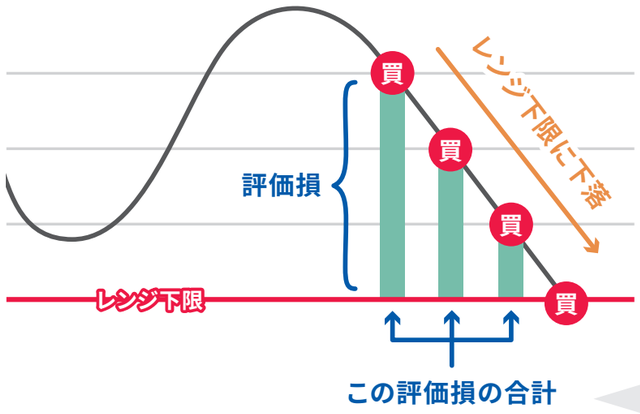
必要証拠金

レートがレンジ下限（買いトラリピの場合）または上限（売りトラリピの場合）に到達した時点で成立しているポジションに対して必要となる証拠金（必要証拠金）の見積額です（必要証拠金についてはP.8で説明しています）。

評価損見積額

買いトラリピの場合はレンジ下限（売りトラリピの場合はレンジ上限）にレートが到達したときに
発生する評価損を指します。
評価損が発生する方にレートが動き、全てポジションを持った段階で発生している評価損ということです。

買いトラリピのイメージ



レンジ下限までレートが
下落したときに、
保有ポジションで発生
している評価損の合計

注文に必要な最小資金

必要証拠金－評価損見積額で算出されます。
（例）必要証拠金が50万円、評価損見積額が30万円の場合、注文に必要な最小資金は80万円
（算式：50万円－（－30万円））となります。

これから設定しようとしているトラリピですべてのポジションが成立（買いトラリピの場合はレンジ下限、
売りトラリピの場合はレンジ上限）しても、ロスカットされずに持ちこたえられる最小資金です。

ストップロス見積額

ストップロスを入力した場合のみ、表示されます。
入力したストップロス価格で決済された場合の損失額の見積です。

ロスカットレート（概算）・ロスカット見積額

【運用予定額】を入力すると算出されます。

注文前にリスクを確認することが
トラリピを長く続けるポイントがぅ！

必要資金をチェック（トラリピのリスクを試算）

運用予定額は何を入力すればいい？

●これから入金予定：

入金される予定の金額をご入力ください。

●入金はしているが取引はしていない場合：

取引画面「口座状況」の預託証拠金の金額をご入力ください。

※すでに取引をされている（ポジションや注文が入っている）場合：

「トラリピのリスクを試算」では入力した1つのトラリピのみを考慮して試算結果が出ているため、
すでに他の注文が入っている場合はロスカットレートは実際の取引とは異なってまいります。
このため、あくまでこれから注文するトラリピで必要な資金を確認する（必要証拠金や評価損見積額等）ため「トラリピのリスクを試算」をご利用いただき、「口座状況」の「発注可能額」にその分の余裕があるかを確認してください。

ちなみに「運用予定額」ですが、**トラリピ注文画面に項目はありません。**
お預けいただいているご資金のうち、トラリピに充てる資金額を指定することはできませんので、ご注意ください。

ロスカットレート（概算）

このレートになったらロスカットが執行されるという数値です。
今のレートと比較してどの程度余裕があるのか確認しましょう。

ロスカット見積額

ロスカットレートでロスカットが執行された場合に想定される損失額です。

以上が「トラリピのリスクを試算」で重要な項目です。
それでは試算結果を変えたい場合、トラリピ注文内容のどの数値を変えたらいいのかについて解説します。

必要証拠金の金額を変えるためには？

・必要証拠金を減らす →　トラップ本数を減らす　もしくは　注文数量を減らす
・必要証拠金を増やす →　トラップ本数を増やす　もしくは　注文数量を増やす

必要証拠金は、**「レンジ下限の価格×注文数量×トラップ本数×証拠金率」**（買いトラリピの場合）で計算されるため、トラップ本数もしくは注文数量を変えることで増減します。
（売りトラリピの場合はレンジ上限の価格で計算されます）

※トラップ本数・注文数量を変える場合は一度「トラリピのリスクを試算」画面を閉じていただき、注文画面に戻ってから数値を変更し、改めて「トラリピのリスクを試算」を開いていただくと、変更後の試算結果となります。

ロスカットレートを変えるためには？

リスクを下げる

ロスカットレートを下げたい（売りトラリピなら上げたい）場合
↓
トラップ本数を減らす　もしくは　注文数量を減らす　もしくは　運用予定額を増やす

リスクを上げる

ロスカットレートを上げたい（売りトラリピなら下げたい）場合
↓
トラップ本数を増やす　もしくは　注文数量を増やす　もしくは　運用予定額を減らす

必要資金をチェック（トラリピのリスクを試算）　いざ！注文

リスクを上げても大丈夫？

ロスカットレートが今のレートと比べて大きく離れている（余裕がある）場合、
運用予定額に対して取引量が少ない状態です。
ロスカットに対するリスクは低いですが、運用効率は下がる可能性があります
（預けている資金に対して運用に使っている金額が少ないため）。

試算した結果、ロスカットに対するリスクがかなり低い場合、取引量を増やすことを
検討してもよいかもしれません（もちろん、リスクをできる限り減らしたいとお考えの
場合は取引量を増やさなくても問題ないです）。

このように「トラリピのリスクを試算」で必要資金やロスカットレートを確認し、
必要に応じて注文内容や運用予定額を変えてみましょう。

トラリピの設定項目が決まりましたら注文しましょう。

① 注文画面でそれぞれ設定を入力

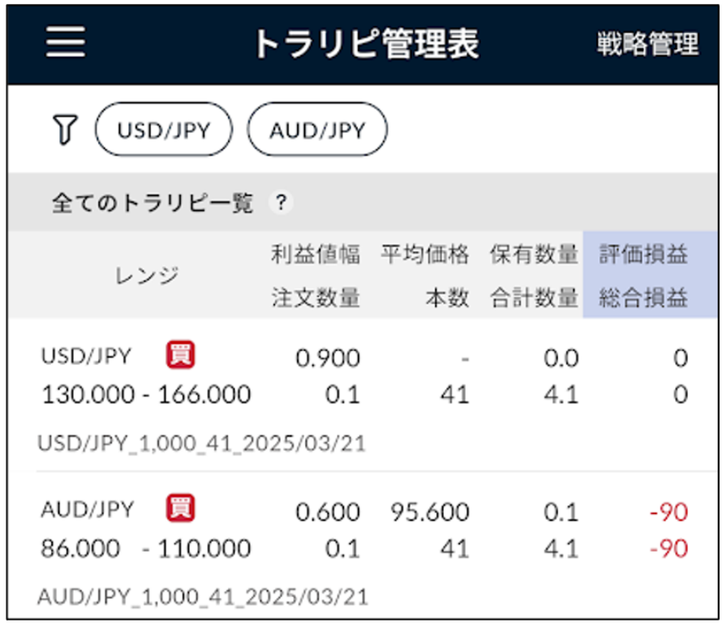
② 入力が終わったら【確認へすすむ】をクリック

③ 内容を確認のうえ【注文する】をクリック

いざ！注文

注文した後は取引画面メニュー「トラリピ管理表」でチェック。

アプリの
トラリピ管理表
イメージ



以上がトラリピ注文完了までのご案内でした。

注文は完了したけど…

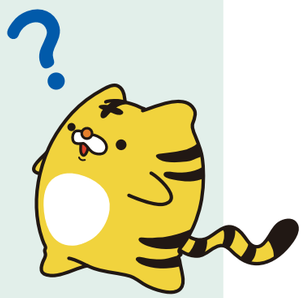
もっとトラリピを仕掛けたい！
気を付けるポイントは？
レンジを抜けてきた、どうしたらいいの？
対円以外の通貨ペアに挑戦してみたい！

こんなお悩みをお持ちのお客様は

トラリピ上級者に
なろうの巻

トラリピをメンテナンス
しようの巻

で解説しておりますのでご覧ください！



最後まで読んでいただき
ありがとうがぅ！

トラリピくんぬいぐるみ

■当社サービスに関しての注意事項

・取引開始にあたっては契約締結前書面をよくお読みになり、リスク・取引等の内容をご理解いただいた上で、ご自身の判断にてお願いいたします。

・当社の店頭外国為替証拠金取引および店頭CFD取引は、元本および収益が保証されているものではありません。また、取引総代金に比較して少額の資金で取引を行うため、取引の対象となる金融商品の価格変動により、多額の利益となることもありますが、お客様が差し入れた証拠金を上回る損失が生じるおそれもあります。また、各金融市場の閉鎖等、不可抗力と認められる事由により店頭外国為替証拠金取引および店頭CFD取引が不能となるおそれがあります。

・店頭外国為替証拠金取引、店頭CFD取引における取引手数料は無料です。

・当社が提示するレートには、買値と売値に差（スプレッド）があります。流動性が低くなる場合や、天変地異または戦争等による相場の急激な変動が生じた場合、スプレッドが広がることがあります。

・店頭外国為替証拠金取引に必要な証拠金額は、個人のお客様の場合、取引総代金の4%以上です。法人のお客様の場合、取引総代金に、金融先物取引業協会が算出した通貨ペアごとの証拠金率（為替リスク想定比率）を基に当社が算出した証拠金率を乗じた金額となります。為替リスク想定比率は、金融商品取引業等に関する内閣府令第117条第27項第1号に規定される定量的計算モデルを用い算出します。なお、証拠金率（為替リスク想定比率）は変動いたします。店頭CFD取引に必要な証拠金額は、取引総代金の10%です。

株式会社マネースクエア

〒107-6240　東京都港区赤坂9-7-1　ミッドタウン・タワー40F
金融商品取引業　関東財務局長（金商）第2797号【加入協会】日本証券業協会　一般社団法人 金融先物取引業協会

※2025年4月改訂版

MONEY SQUARE
毎日が財産になる